

# 12市町村で 政令指定都市の実現を目指す

## 第2回新潟地域合併問題協議会

新潟地域の十市町村で構成する「新潟地域合併問題協議会(任意合併協議会)」の二回目の会合が、十月二十五日に新潟市で開催されました。今回から正式に新潟市、小須戸町が参加。新たに十二市町村で合併問題を協議することとなりました。

協議では、二市町の加入による同協議会の規約一部改正と補正予算を議決。そのほか、同協議会での協議項目と協議方法、今後の協議予定について質疑・協議し、いずれも原案どおり了承しました。また、政令指定都市の実現を目指す決議を、全会一致で決定しました。第三回協議会は十二月中旬に開かれる予定です。

今後の協議会日程(予定)

平成14年度	12月	第3回協議会
	平成15年	
	1月	第4回協議会
	2月	第5回協議会
平成15年度	5月	第6回協議会
	7月	第7回協議会
	9月	第8回協議会
		第9回協議会
		予備

**新潟合併問題協議会  
ホームページを開設**

同協議会のホームページができました。ぜひアクセスください。  
協議会ホームページアドレス  
<http://www.niigatachiki-gappei.jp/>

### 行政制度の協議項目と協議方法

協議項目	任協での協議方法
合併の方式	任協の協議に付す
合併の期日	
財産の取り扱い	事務局で原案を作成し、任協の協議に付す
協議の議員の任期および定数の取り扱い	任協の協議に付す
地方税の取り扱い	
地域審議会の取り扱い	
農業委員会の取り扱い	農業委員会の意向を踏まえて事務局で原案を作成し、任協の協議に付す
一般職の職員の取り扱い	原則的取り扱いに関して事務局で原案を作成し、任協の協議に付す(具体的な取り扱いは事務局に委ねる)
特別職の職員の取り扱い	
行政機構および組織の取り扱い	
一部事務組合等の取り扱い	
使用料・手数料の取り扱い ※施設使用料、証明手数料に限定する	
公共的団体等の取り扱い	
各種団体への補助金・交付金等の取り扱い	
町字名の取り扱い	
慣行の取り扱い	
各種事務事業の取り扱い	

※の項目は事務局で原案を作成せず、直接任協の場で協議されます。

## まちの話題



### 白根の十五歳、しっかりしてます

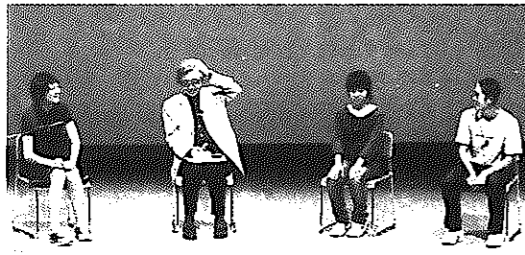
#### 映画「十五才学校Ⅳ」上映会と山田洋次氏講演会

十月二十六日、白根学習館で、映画「十五才学校Ⅳ」上映会と山田洋次氏講演会が、ラスベック応援団の主催で行われました。「全国で学校Ⅳを上映しながら、生きていくことについて中学生と対話したい」。

昨年の秋、あるテレビ番組で山田監督が話すのを偶然見た応援団の一人が、「ぜひ白根市に」と手紙を送ると、快く引き受けてくれたそうです。

映画は、本格的な映像を楽しんでもらうため、プロの映写技師を呼び寄せての上映となりました。内容はもちろん、映像にも満足したという声が多く聞かれました。

その後の講演会では、山田監督があこがれた生き方、大人像について語りました。また、「男はつらいよ」シリーズで寅さん役を演じた渥美清さんの人柄や、エピソードなども披露し、観客を楽しませていました。



山田監督とのトークショー  
左から、清水花子さん(白根第一中)、大野妙子さん(新飯田中)、外川昭太くん(白根第一中)

最後のトークショーには、映画の主人公と同じ、十五歳の市内中学生三人が参加。生きていくことについて、日ごろ感じていることなどを、山田監督と自由に話し合いました。「自分の糧になることを見つけないと、落ちていくのを見ながら、ゆっくりと生きていくのが理想。でも今の世の中にはその時間がない」と話す中学生。その大人顔負けの発言に、会場の大人たちから「おー」と感心の声が多く聞かれました。

「今ドキの中学生、意外としっかりしているもんだ。少し考えを変えようと思います」や、「大人になつたわたしたちは、子どもの気持ちになかなか分からない。でも今日のイベントを通して、少し分かった気がします」など、この日会場を訪れた人は、さまざまに感じていました。



## 白根市営住宅条例の一部改正と 一般会計補正予算を可決

### 第7回市議会臨時会



第七回市議会臨時会が十月二十一日に開かれ、白根市営住宅条例の一部改正と、無登録農薬問題による農業者への支援等を含む一般会計補正予算の二議案を審議し、すべて可決しました。

**可決された議案**

●白根市営住宅条例の一部改正  
老朽化が進み、現在空き家となっている鷺ノ木市営住宅第2種住宅2棟を取り壊すため、条例の一部改正を行うものです。なお、取り壊した跡地には、地域防災センターの建設を予定しています。

●白根市一般会計補正予算(第九号)  
既決の予算に、二千七百六十八万六千円を追加して、予算総額を百二十一億三千六百一十九万九千円としました。

補正予算の主なものとして、歳出では、市内一部農家で無登録農薬ダイホルタンの使用が判明したことにより、全農家・梨全品種を対象に実施した残留農薬検査の費用などを計上しました。また、この問題で、農業経営の打撃を受ける梨生産者の支援策(融資に対する各種利子助成など)を実施するための経費も計上しています。なお、各種利子助成実施に伴い、債務負担行為を設定しました。

歳入では、歳出の予算補正に伴い、県支出金と前年度繰越金を計上しました。

## 新たな伝統に向け



十月二十六日、白根高校創立四十周年記念式典が同校体育館で行われました。

白根高校は、昭和三十八年四月一日に新津高校の定時制中心校と白井分校を移管し開校。平成十四年三月現在、八千六百六十六人の卒業生を社会へ送り出しています。

式典で武田鉄三校長は、「激動の時代、常に主体性を持って生きる。そのためには、たゆまぬ努力をしてください」と在校生を激励。生徒代表の丸山浩司君は「努力・精進し、これからの白根高校の未来を築いていきます」と力強く誓いの言葉を述べました。

## 交通安全を呼び掛け



十月二十六日、(白根地域)シルバー人材センターが市役所前の市道で、活動PRと交通安全の呼び掛けを行いました。

これは、今年度から設定された「シルバーの日」に合わせて行われたもので、同センターの会員や職員二十二人が参加しました。

白根警察署の協力の下、会員たちは「シートベルト着用」「スピードはひかえめに」などのプラカードを持って歩行者やドライバーに呼び掛けるとともに、蛍光反射板を配布。ある会員は「来年も人の役に立つ奉仕活動をしていきたい」と笑顔で話してくれました。